



ありがとう！こんなに大きくなったよ！（永野保育所）

さかわ

Sakawa

58
2014.5.1

議会だより

発行 高知県佐川町議会

3月定例会

contents

目次



春日川の桜

平成26年度一般会計予算	59億9020万円	2
集落活動センター事業	黒岩・斗賀野でも	8
霧生関公園	どうするか(一般質問)	18
追跡	中学生までの医療費無料化に	22
議会懇談会	今年も実施	23



平成26年度 一般会計予算

賛成全員で **可決**

賛成討論

松本議員

霧生関公園を白紙に戻したこと、中学生までの医療費無料化、住宅リフォーム助成制度のスタートは大変よいが、一方で給食費の増額は残念。

初めからパーフェクトな予算組みを求めることは酷かもしれないが、しっかりした展望を示しながら、住民と一緒に総合計画を策定するため、チーム佐川推進課を置いたことはよい。

以上の理由で賛成する。

※一般会計予算とは・・・ 佐川町の福祉・教育・防災対策などの住民サービスを行う、町政運営に必要な大事な予算です。年度初めの一般会計予算は当初予算と呼ばれ、1年間の町の運営を行うための経費です。

3月定例会は、7日から13日までの会期で開かれました。
平成26年度一般会計予算をはじめ平成25年度補正予算、条例の制定や改正などが上程され、議案40件、全員賛成及び賛成多数で全件可決しました。
一般質問には9人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

平成26年度 一般会計予算

59億9,020万円

新しい町づくりを目指して

(ひとづくり・地域づくりを大きな柱に)



和楽公園からの佐川のまちなみ

平成26年度の一般会計予算は約59億9千万円、前年に比べて約5億円の減となっております。前年度からの減少率は7・7%となっています。

予算編成は10項目の重点項目を掲げ、その中で今年度は、防災対策など昨年度からの継続的なものに加え、総合計画策定や、小規模林業へのチャレンジなどが新しく重点項目に加わっています。

歳入

入るお金

平成26年度の自主財源（町民自身が税金等で負担するお金）は16億8千万円。主な収入となる町民税や固定資産税などの町税が昨年より1%減の約10億6千万円。

国や県からくるお金のうち主たる地方交付税は0.2%増の約25億円となります。

歳出に対して、足りない額を補うため、財政調整基金（貯金）から1億6千万円を繰り入れています。

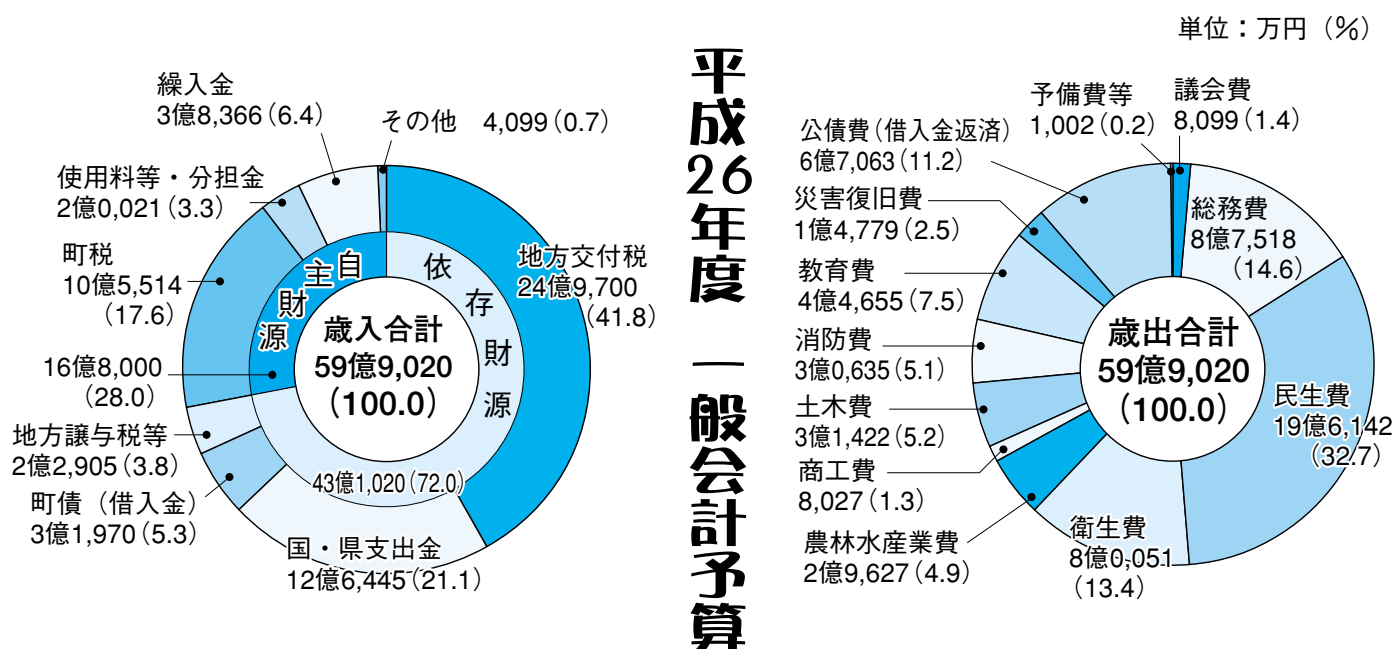
歳出

出るお金

人件費は昨年より3・4%減の約9億円。投資的経費は26・4%減の6億4千万円となっています。

平成26年度予算 総額 115億7,075万円

住みよい安心の町づくりへ



平成26年度各会計の当初予算

（単位：万円）

会 計 名		本年予算総額	前年度予算総額	比較増減
一 般 会 計		59億9,020	64億8,958	△4億9,938
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	18億9,880	18億5,409	4,471
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	281	338	△57
	学 校 給 食	5,613	5,412	201
	農 業 集 落 排 水 事 業	2,741	2,691	50
	特定環境保全公共下水道事業	0	1,235	△1,235
	介 護 保 険	17億6,520	17億5,083	1,437
	後 期 高 齢 者 医 療	2億1,702	2億 950	752
	水 道 事 業	3億5,310	3億3,499	1,811
特 別 会 計	病 院 事 業	20億7,573	27億0,497	△6億2,924
	総 計	123億8,640	134億4,072	△10億5,432
重 複 額		8億1,565	8億5,735	△4,170
全 会 計 純 計		115億7,075	125億8,337	△10億1,262

※水道事業および病院事業会計の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上

※特定環境保全公共下水道事業特別会計は、事業の中止に伴い会計を廃止

平成26年度 学校給食特別会計予算

賛成多数で 可決

反対討論

松本議員 義務教育は無償とするが教育基本法の理念であったはずだ。本来学校給食は無償であるべきと思っている。そのことに少しでも近付けるべきだ。

賛成討論

徳弘議員 給食費に関しては、運営委員会の意見を聞いて教育委員会が定めとなっている。

委員会では給食の質を低下させないためには、1食10円の値上げもやむを得ないとなり、全員で同意している。

3月 補正予算 ピックアップ

個人住宅の耐震診断、改修、ブロック塀、除却等の耐震対策に要する費用の補助を行うもの。

木造住宅耐震化 支援事業

個人住宅の耐震改修等への補助
4,699万円

瑞応、荷稻、庄田、室原地区の農道や水路を改修するもの。

基盤整備事業

農道、水路の改修

2,600万円

池田団地1棟、富士見団地3棟の外壁の改修や、集会所の改修を行うもの。

地域住宅交付金事業

町営住宅等の改修

3,140万円



きれいになります！富士見団地

平成25年度3月補正予算

(単位：万円)

会 計 名		補正額	補正後の額
一 般 会 計		△2億2,753	65億2,827
特 別 会 計	国民健康保険事業	△851	19億0,741
	住宅新築資金等貸付事業	1	3,873
	学校給食事業	50	5,461
	農業集落排水事業	△318	2,373
	特定環境保全公共下水道事業	0	1,235
	介護保険事業	△1,125	17億4,719
	後期高齢者医療事業		2,124
	水道事業	4,712	2億9,264
病院事業		1,309	26億9,510

※水道事業および病院事業会計の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上

3月定例会で決まりました

条例制定・改正

チーム佐川推進課 新設される

「チーム佐川推進課」は、総合計画策定の中心的役割を担い、今後のまちづくりの重点施策である、集落活動、移住促進にも取り組む。

地域おこし協力隊の 報酬を決定

平成26年度から新しく設けられる地域おこし協力隊員の報酬を月額16万5千円に定める。

非常勤職員の育児休業 制度定まる

地方公務員の育児休業等に関する法律を受けて、一定の要件を満たす非常勤職員が、育児休業をとることができるようになった。

社会教育委員の委嘱 基準定まる

社会教育法の改正により、社会教育委員委嘱の基準を定める。

各種管理条例の改正

消費税の増税に伴い、町の各種使用料や手数料等を改定する。

地酒で乾杯を

佐川町の伝統産品である地酒は約400年の歴史があり、地酒で乾杯する習慣を広めることで、地酒の普及を進め、歴史と文教の町佐川の伝統文化への理解促進に寄与することを目的に条例を制定する。



指定管理者に指定された団体

対象となる施設	管理を行う団体
ふれあいの里尾川	尾川地区活性化協議会
集落活動センターたいこ岩	尾川地区活性化協議会
名教館	さかわ観光協会



伝統文化の継承に乾杯

議員各位の意思表明

賛否表(平成26年3月定例会)

○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	下川 芳樹	坂本 玲子	邑田 昌平	森 正彦	片岡 勝一	松浦 隆起	岡村 統正	中村 卓司	松本 正人	永田 耕朗	西村 清勇	今橋 寿子	徳弘 初男	藤原 健祐
平成25年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成25年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成25年度学校給食特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
平成25年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
平成25年度水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
平成25年度病院事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度学校給食特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
平成26年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度病院事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
消費税率及び地方消費税率の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
課設置条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
特別会計条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
長期継続契約に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
地酒で乾杯を推進する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
ふれあいの里尾川設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
集落活動センターたいこ岩設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
上下水道運営委員会条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
名教館設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
ふれあいの里尾川の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
集落活動センターたいこ岩の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
名教館の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
四ツ白・ニツ野辺地に係る総合整備計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
尾川・斗賀野辺地に係る総合整備計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成25年度水道事業特別会計資本剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成25年度病院事業特別会計資本剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高吾北広域町村事務組合の共同処理する事務の変更及び高吾北広域町村事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

この事業に議会が

注目

3月定例会において、平成26年度当初予算の中から、議会が注目する事業を紹介します。

福祉の拠点を設け、地域福祉充実のため実施します。尾川に続き、斗賀野でもスタートします。

あったかふれあいセンター事業 1,516万円



斗賀野でのあったかふれあいセンター、スタート！

集落づくり、地域づくりのため黒岩、斗賀野で新たに取り組みをはじめます。尾川は2年目に入ります。

集落活動センター事業 914万円

集落活動センター事業とは

今、集落の力が弱くなっています。住民の力を取り戻し集落がもっと活発になるよう、中心的役割を果たす組織をつくり、地域の拠点をつくる事業

自分たちで山を持続的に育てていくため、研修や作業路開設のための費用です。

自伐林業支援 1,396万円

自伐林業活動や農産物加工、販売の支援のため、国からの補助を受け7名を雇用します。

地域おこし協力隊 2,869万円

みんなが活躍できるまちをめざし、計画を策定するための費用です。

総合計画策定 1,219万円



これまでに作成された総合計画書

やっと実現しました。
安心して子育てができる
制度です。

中学卒業までの 医療費無料化

4,460万円



健康であってこそ中学生生活楽しめる（佐川中学校）

天井や照明器具等の落
下防止のための設計、改
修費用です。

小中学校非構造 部材耐震化

2,822万円



落ちたら大変、安全に

救急搬送や災害時に備
えて、緊急用ヘリコプタ
ー離着陸場を整備する事
業です。

緊急用ヘリポート整備

1,700万円

地球温暖化防止や災害
時の電源確保のため、か
わせみと尾川の集落活動
センターに蓄電式太陽光
発電システムを整備しま
す。県の補助事業です。

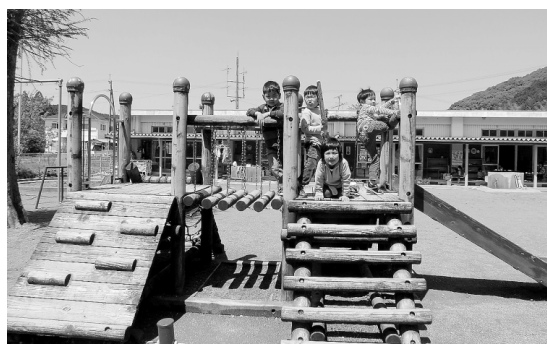
蓄電式太陽光発電 システム整備

5,057万円

園児の安全安心、健や
かな成長のため耐震工
事、木製遊具設置などの
工事をします。

永野保育所整備

894万円



きれいな遊具になるよ！（永野保育所）

牧野公園整備や司牡丹
酒造の酒蔵改修に向けた
設計、調査のための費用
です。

歴史まちづくり

2,073万円



伝統守り、まちなみ整備

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計

入札システムとは

下川議員 一般入札システム導入委託料の内容は岡林総務課長 指名業者のデータベース化をする委託料だ。業者選定や入札管理をより適正に執行することができるようになる。

延滞金徴収の成果は

森議員 延滞金の徴収は、大きな成果が上がっている。その理由は、

橋掛収納管理課長 延滞金の徴収率を約202%まで伸ばすことができたのは、課の職員が一丸となり延滞金徴収を強化して取り組んできた結果。

情報公開

松本議員 総合計画の策定過程も含めた情報公開を。

堀見町長 総合計画は、計画に縛られるものではなく、策定の過程でも町民にプロセスを見てもらい、2力年かけてつくる中で、職員、町民のつ

くつきを



おいしいおやついただきます(黒岩中央保育所)

福祉

あつたかふれあい今後は

下川議員 あつたかふれあいセンター事業の今後の動向は。

岡崎健康福祉課長 県の補助事業であり、今後も持続していく事業だと思

う。佐川町でも、あつたかふれあいセンターの設置を積極的に推進したい。

不妊治療費助成

松浦議員 町単独の特定不妊治療費はどういった治療でどれくらい助成されるか。

岡崎健康福祉課長 今年度は50万の予算を組んでいる。県の助成制度に加え、町の単独の制度だ。津野町を参考に、内容については検討中である。

保育士処遇改善

坂本議員 保育士等処遇改善臨時特例事業を実施する目的は。

岡崎健康福祉課長 補助金は9百万円。保育士の人材不足、人材確保という観点と保育士の賃金が低いので、その引き上げのための予算。私立保育所に対して補助する。

障害者相談支援

中村議員 障害者相談支援の予算8百万円の中身は。

岡崎健康福祉課長 障害者相談支援の委託料。障害者総合支援法で、サービス利用計画をつくる必要がある。そのプラン作成と相談支援をセットにして委託する予定。

子宮頸がん

中村議員 子宮頸がんの予防接種で害が出ている

が、町としてはどうか。岡崎健康福祉課長 その予防接種は、健康被害などの報告があり、積極的な予防接種の広報はしていない。希望があれば、補助金はある。

子育て支援センター

森議員 子育て支援センターを直営にした理由は。

岡崎健康福祉課長 平成27年度から、子ども子育て支援制度が開始される。その中で地域子育て支援センターの持つ役割、重要性がうたわれており、そこを直営にし、拠点としていく。

消費税増税どう使う

松本議員 消費税増税分を社会保障に使うと言っているが、どう使うか。

岡林総務課長 消費税アップ分の地方消費税交付金2千5百万円を社会保障の4分野、年金、医療、介護、少子化対策で使っている。

デマンドバス計画は

松本議員 交通弱者に對

する取り組み、デマンドバス等、今後どうするか。

岡林総務課長 公共交通は、黒岩観光へ運行の補助が組まれている。今後どうするかは、3月末までに、運営協議会を進めるためのスケジュールを作成したい。

産業

中山間交付金拡大は

下川議員 中山間直接支払交付金、活動資金交付金の地域拡大の状況はどうか。

渡辺産業建設課長 農業の生産の維持を図りながら、多面的機能の確保をする事業で現在10力所78ヘクタール余りを対象として実施している。今後地域拡大できるようにしていきたい。

自伐林業目指すもの

松浦議員 自伐林業はどういうところを目指しているか。

堀見町長 山の資源を生かして、地域とのつなが

り、人とのつながりを図
っていく。林業からの産
業振興をし、佐川町での
雇用の創出、活性化を圖
っていききたい。

防 災

防災メール概要は

松浦議員 平成26年度か
ら実施する防災メールの
概要は。

岡林総務課長 町に登録
した人に、災害時に発信
する。それ以外でも、町
民に必要な情報について
も発信できるように、これ
から検討していく。

消防バイク導入目的

松浦議員 消防バイクと
ういった目的で導入か。

岡林総務課長 初期消火
に非常に効果があると聞
いている。

黒岩保育所耐震は

坂本議員 黒岩中央保育
所の建てかえ、または耐
震化の今後の計画は。

岡林総務課長 耐震化を
するか、建てかえをする
か、今後検討していく。

堀見町長 平成26年度
半年以内に方針を決め
る。

文化センター、遊学 館耐震計画は

坂本議員 指定避難所の
収容施設で、耐震化され
ていない文化センターと
遊学館の耐震化計画は。

堀見町長 平成26年度
半年以内に方針を決める。

教 育

尾川小、中学校新事
業は

森議員 尾川小、中学校
での事業の内容と目指す
成果は。

川井教育長 教育のスキ
ルアップをし、地域住民
の声を反映させ、地域と
ともに歩む学校づくりを
目指す。成果としては地
域と一体となった学校づ
くりが推進されることを
期待する。



学 校 給 食

給食費の滞納は

中村議員 学校給食費の
滞納の現状と収納の努力
は。

川井教育長 かつては滞
納額が2千万円を超えて
いた。現在は1千万円程
度となっている。毎年百
万〜二百万円の滞納の徴
収ができています。現年分
は約99%の収納率である。

条 例 改 正

組織改革への討議は

下川議員 今回の課設置
条例改正に伴い、組織内
部までどのような意見集
約が討議されたか。また、
健康福祉課は大変大きな

業務内容となっている。
機構改革を早期に実現す
べきだ。

堀見町長 役場の中で、
守るべき部署と攻めるべ
き部署、そのバランスが
取れている事が大事だ。
企画を担当する部署とし
てチーム佐川推進課を新
しく設置するということ
で今回議案提出となっ
た。健康福祉課について
は今後の課題として取り
組んでいきたい。

地酒で乾杯条例

永田議員 佐川町地酒で
乾杯を推進する条例は、
条例化による事業者の役
割について事業者とどの
ような話をしているの
か。

堀見町長 細かい打ち合
わせはしていないが、事
業者として町や町民と一
体となつて取り組みを盛
り上げて下さいと話し
た。

医療費助成

中村議員 15歳まで無料
化、中学生であっても16
歳という事はある。配慮
は必要ないか。

堀見町長 条例は15歳ま
でとなっている。中学生
であっても16歳は対象と
ならない。

国保特別会計

シエネリック医薬品

松浦議員 シエネリック
医薬品の具体的取り組み
は。

横山町民課長 国保連を
通じてシエネリック医薬
品の使用促進通知をす
る。成果は出ている。



介護特別会計

介護保険法改正

中村議員 来年度介護保
険法が改正されるが平成
26年度予算はそのことを
考慮した予算となっている
か。

岡崎健康福祉課長 第6
期介護保険事業計画策定
の予算を計上している。

病院特別会計

病院患者数は

森議員 病院が新しくな
り、患者数は増加してい
るか。

平成26年度の収支の状
況、見通し、医師確保に
ついて。

笹岡病院事務局長 平成
25年度の患者をオーバー
することは間違いない。
収支については大変厳し
い状況の中、院長以下全
職員が頑張っていくこと
で展望が開けると確信し
ている。

医師の確保については
前年同様の体制を維持し
たい。

公会計方式

再度、検討を

町長 勉強した上で、決めたい

松浦 隆起 議員



9人が町政を問う

ここが聞きたい

現在、本町で行っている公会計は、総務省基準モデル方式で行っているが、その仕訳は出納閉鎖期間後、まとめて行っている。日々仕訳が月々仕訳で行い、リアルタイムに財務諸表が出せるようにすべきだ。

東京都方式の導入も含めて、公会計の方式について、本町にとって何がいいのか、再度検討してはどうか。

堀見町長 リアルタイムで財務の分析。把握をすることの重要性は誰よりも認識している一人だと考える。企業ほどリアルタイムな分析が必要ではないのかなと感じているが、来年度に向けて基準方式がいいのか東京都方式がいいのか、どの方式がいいのか、私が先頭に立って、勉強した上で本町の公会計方式を決めていきたい。

消防団支援法

処遇改善を

町長 改善の方向で検討したい



ありがとう！ 地域を守る消防団

昨年12月に「消防団支援法」が成立し、消防団員の処遇改善、装備品の充実が求められている。現在本町で支払われている報酬と出勤手当は、国の定めた交付税措置額より下回っている。消防団の責任の重さを考え、交付税措置額を出すべきだ。

堀見町長 報酬、出勤手当両方、改善の方向で検討を進めていきたい。半年以内に結論を出したい。

取り組みを

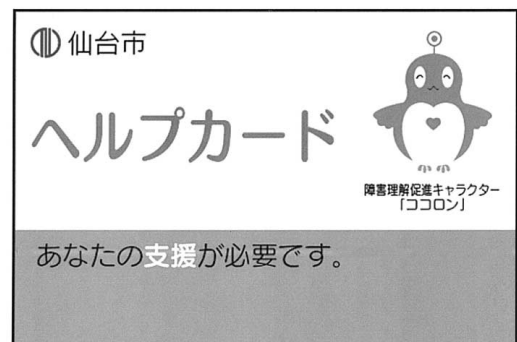
健康福祉課長

平成26年度内に検討

障害や難病を抱えた人が、必要な支援をあらかじめ記入しておき、緊急時や災害時などの困った際に提示をして、周囲の配慮や手助けをお願いしやすいものがある。本町でも、取り組んではどうか。

岡崎健康福祉課長 現在、本町として、具体的に取り組む考えは持っていない。ヘルプカードなど、諸々の要援護者対策について、平成26年度内に検討していきたい。

ヘルプカード



仙台市が使用しているヘルプカード

実施を

町長 今後考える

どの子も健やかに成長し、将来のための教育を受けることは、大変重要だ。

貸与式では子どもが働き始めた時、借金がある状況だ。町独自で給付型奨学金制度を創立してはどうか。

堀見町長 町としても教育に対して真摯に取り組んでいくことはとても大事なことだ。

給付型の奨学金制度については現時点では考えてない。今後、国、県の状況を見ながら考えていきたい。



坂本 玲子 議員

国民健康保険税

資産割をなくせ

町民課長 検討する

国民健康保険税は高いと言われている。国保税の課税方式には3つの方式があり、佐川町の場合は4方式（所得割、資産割、均等割、平等割）を採用している。所得割は仕方がない。しかし固定資産税を払い、さらに固定資産税の6割を資産割として払わなければならないのは納得できない。



横山町民課長 佐川町は資産割が高い。固定資産への二重課税的な感覚があり、資産割は問題点としてあがっている。来年度には国保税率とともに、賦課割合についても国保協議会の中で検討する。



一人一人に確かな未来を

避難所、防犯灯

太陽光発電の活用を

総務課長 電源確保考えたい

避難所が停電になったとき、代替えの電源はあるか。また収容施設の耐震化は完了しているか。

すべての避難所（各公民館、集会所）に太陽光発電を導入し、電源を確保するようにしてはどうか。また、避難路の防犯灯をソーラー式にできないか。できないなら、電球をLEDに変えることはできないか。

岡林総務課長 すべての防犯灯をソーラー式にはできないが、今後検討していく。

避難所の電源対策は、今後、電源確保を考えたい。渡辺産業建設課長 今年度、2カ所蓄電式太陽光発電システムを導入する。今後もこういった施設を設置したい。



屋根に蓄電式太陽光発電設備を導入する予定のかわせみ

平成26年度予算

施政方針は

町長 人づくり、地域づくりをみんなで

森
正彦
議員



平成26年度予算は、堀見町長就任後の初の予算編成で新しい町づくりに向けての町長の思い、施政方針と予算の概要を聞く。

堀見町長 平成26年度の大きな方針として、人づくり、地域づくりを皆さんとともに取り組む。

主なものは、総合計画策定、集落活動センターへの支援等で人のつながりをつくっていききたい。施策としては、自伐林業の推進、中学校までの医療費無料化、耐震化事業やヘリポートの整備、新エネルギー対策事業の導入などだ。

人口の減少

町の大きな課題

町長 大変重要と認識

人口減少は町の大きな課題だ。その認識と対策について聞く。

堀見町長 人口減少に歯止めをかけることは大変重要だと認識している。

第一に考えなければならぬことは、今、佐川町に住む人が生き生きと前向きに暮らせる、そういう町をつくるのが大切だ。

そのために「魅力あるまちづくり、人づくり」、「生活しやすい、子育てしやすい環境整備」、「佐川町での働く場づくり」が大事であると考えてる。



チーム佐川で地域づくり推進

町職員の再任用制度

能力生かすべき

町長 しっかり考え人員配置

再任用の職員は経験豊富で多くの知識があり、技量も高い。力量を発揮し活躍できる場を与えるべきだ。

堀見町長 今年度も一生懸命、町のために仕事をしてくれている。

平成26年度に向けては再任用職員の能力を把握し経験をフルに活用して働けるように、しっかり考え人員配置をしたい。



若者が定住しやすい環境づくりを



下川 芳樹 議員

新年度の重点施策において小さな負担で大きな成果をあげるため、国や県の補助事業を積極的に活用しているのか。
また県と連携する考えはあるか。

補助事業を活用

小さな負担で大きな成果を

町長 県と連動していく

堀見町長 県の取り組みの中で特に集落活動センターに関する事業はまちづくりの施策として高く評価している。
予算でも、自伐林業の取り組みや地域おこし協力隊など、国や県の補助事業を使い、施設整備やソフト部分の対策を講じている。
県の取り組みと連動し町政を執り行っている。

若者定住促進のため

農業への支援を

町長 町単独事業予算化

若者定住促進のために必要な働く場所として農業がある。就農することで地域集落を維持、継続することができる。
当町の新規就農対策や支援策は十分な状況であるのか。
県補助がないものを町単独事業として支援する考えはあるのか。

式洗浄そぐり機を県補助で農協に導入する。今後は県の事業として対応できないレンタルそぐり機的なものも県に要望し協議を進めていきたい。
また小規模レンタルハウスを町単独事業で予算化している。
堀見町長 平成26年度の町の単独事業を予算化している。今後も町の実情に合った農業振興へ手を打っていききたい。



人手不足解消のためニラそぐり機導入

移住促進

委託しては

町長 結論出せない

移住者にとって、移住担当課の対応が佐川の印象につながる。空き家情報や所有者との折衝など、少ない職員では大変な労務となる。地域の団体やNPOなどへ作業を委託してはどうか。

堀見町長 移住ありきよりも、まずは魅力ある町づくりが大事だと思う。地域の団体、NPOの方に委託、移管するかは、現時点で結論が出せない。来年度以降、地元の方々と協力し合いながら空き家情報の収集などに取り組みたい。



移住促進を担当するチーム佐川推進課

その他の質問
○福祉関連計画の進捗状況について。



太陽光発電事業 建設予定地

徳弘
初男
議員



新エネルギー対策

太陽光発電事業

産業建設課長 11月売電開始予定

JR西佐川駅東側に計画している太陽光発電事業の開始時期、仮設道の規模、完成の時期を示せ。渡辺産業建設課長 太陽光発電事業会社は4月に設立される。5月に造成工事に入り、7月にパネル設置工事を始める。仮設搬入道路は幅が5〜6メートルとなる。順調に進めば、11月に売電開始の予定である。

国土調査

進捗状況は

国調課長 平成31年度完了予定

佐川町の国土調査事業は、平成3年から平成31年までの事業だ。あと5年しかないが完了はできるのか。

氏原国土調査課長 平成26年度は荷稻から伏尾団地、鳥の巣から虎杖野、本村西、東を予定している。平成27〜29年度にもそれぞれの地区で計画しており、平成31年度に完了させたいと考えている。

自伐林業モデル事業

荷稻も実施を

町長 来年度、検討



モデル事業候補の荷稻地区 山林

平成26年度は尾川地区の町有林で自伐林業の研究を行うと聞いている。荷稻地区には、町有林を含む山林面積は約100ヘクタールある。来年度は荷稻地区でモデル事業をやってはどうか。

堀見町長 平成26年度は自伐林業の実地研修として、尾川の町有林で行う計画である。今後当町の林業の取り組みに関しては、1チーム3〜5名で100ヘクタールほどの山林に入り、間伐をしていくというスタイルで予定している。

荷稻地区の山林が、ちょうど100ヘクタールほどということ、山林集約の一つのモデルとして、来年度、再来年度、町として取り組みを検討していきたい。



今橋 寿子 議員

男女共同参画

啓発は

総務課長 リーフレット配布する

町民によるアンケート調査を中心に、町民代表の方々と担当職員の熱心な取り組みで、立派な男女共同参画計画案ができています。この計画が計画案だけで終わらないため、町民に向けての啓発等実施要領はどうするのか。

町職員の女性課長登用はどうか。

岡林総務課長 平成26年度は推進委員会を立ち上げ、実施計画を策定し行動に移していく。町民向



女性の参加で町が変わる

けには4枚折りのリーフレットを配布する。その他、町のホームページに掲載したり、いろんな団体に計画書本体を配布し、理解を深めてもらう。

堀見町長 女性のアイデア、女性の意見を取り入れていくことが活性化につながる。協議会のメンバー等に女性を登用することを検討していく。

役場女性職員管理職登用については、職員の仕事、執行状況をみながら、



牧野公園10年計画

今後の取り組みは

産業建設課長 聖地にふさわしい公園に



整備が進む牧野公園

牧野公園の整備10年計画が立てられ、2月23日に牧野公園整備懇談会が催された。その成果はどうだったか。

また今後の取り組みと体制づくりは十分か。

渡辺産業建設課長 整備懇談会は26名の参加で、植栽デザインという観点でヤマユリを植え、そのあと懇談会を実施した。10年計画の目標は「植物の精が息づく聖地にふさわしい公園」として、牧野先生ゆかりの植物を植栽、観賞する公園と定めて住民が気軽に参加できる公園づくりにしていく。体制については、専門の方の配置ができるよう前向きに検討したい。

堀見町長 事業については、チーム佐川推進課と産業建設課あわせて取り組む形で進めていく。

どうするか

町長 白紙に戻す

中村 卓司
議員



霧生関公園問題は、前議会の中でヘリポートやテニスコートも含め、3月議会で方向性を出すと答弁があつたが、どう答えを出したのか。

堀見町長 火薬庫からの保安距離が260メートル必要だが、全てがこの範囲内であるため公園建設は無理と判断し、白紙に戻す。

今後は町民の皆さんに丁寧に説明しながら活用方法も探つてゆく。



白紙に戻った霧生関公園予定地

黒岩水害対策

専従職員配置を

町長 担当職員を配置

黒岩地区の水害対策の中で、町として専従職員で対応すると前回の議会でも答弁があつたが、その人事は検討しているか。

堀見町長 専従職員を置くかは業務量を見ながら判断をする。

また、平成26年度には具体的に測量等の事業が始まり、町として県、国、越知町とも連携を取りながら、組織や人員配置も行つてゆく。

産業振興対策

道の駅つくれ

町長 検討していく

町長は、町の産業振興を掲げる中、道の駅も公約の中で取り上げている。町外からの外貨を稼ぐ場や農業振興、雇用の場としても必要と思うが、町長の思いはどうか。

堀見町長 道の駅としては町の人が活用する広がりを持つ施設である必



地域で人気のはちきんの店

要がある。今後2年間、総合計画を作る中で、農家やJAの皆さんの話を聞くとともに、道の駅をつくれという町民の声も大きくなり、町の産業振興にもつながると実感したら、前向きに検討したい。

その他の質問
○高齢化問題について。
○公僕としての取り組みについて。
○あいさつ運動について。



岡村 統正 議員

霧生関公園計画が白紙となったことで、霧生関ヘリ離着陸場は事実上不可能になった。

緊急用ヘリ離着陸場

設置場所限られる

町長 買い上げ、借地ふくめ検討

佐川地区を含め、他の地区にも設置する考えと
思うが、ヘリの離着陸場
設置場所は、条件的に
なり限られる。土地を
買い上げるか、借地と
するかの。

堀見町長 旧町村単位で、
最低1カ所は設置したい。
土地の提供していただき
整備していきたい。

どうしても土地を
買わざるを得ない場合は、
所有者と協議交渉して
いくが、周りの現状の
値段等も考慮し、
買い上げ、賃貸も含め
検討していく。



尾川の緊急ヘリ離着陸場

斗賀野町営住宅建設

2棟同業者請負不自然

町長 競争入札した結果

町営住宅は、尾川、黒
岩に同じものができて
いる。そのときは3棟、
別々の業者が工事をして
いる。

斗賀野は、A棟T業者、
B棟C棟は、O業者が請
け負っている。広く多く
の業者に関わってもらう
考えなら、不自然で矛盾
する。

こうなった原因と理由
は。
堀見町長 3棟とも同じ
指名業者で競争入札した
結果だ。2棟を同じ業者
が落札しただけで、不自然
とは思わない。

子育て支援、乳児虐待

産後ヘルパー制度導入を

町長 地域福祉の在り方考える

今日、核家族化が進み、
産後の育児に家族の助け
が受けられない状況の母
親は、身体的、体力的、
精神的にも、大変な時期
だ。こういった母親に心
のケアも含め十分な対応
ができていくのか。
北海道の岩見沢市で
は、この産後ヘルパー制
度を取り入れている。家
族の援助が受けられない
母親に限り、無料で利用
できる。この制度は、子
育て支援や乳児虐待防止
と予防に最適だ。本町に
も取り入れるべきだ。

岡崎健康福祉課長 産後
には全戸家庭訪問してい
る。虐待等に発展する可
能性があるケースは、保
健師、職員が訪問回数を
増やし、家庭援助を含め
支援している。
堀見町長 町内のいくつ
かの団体のなかで、地域
の困っている方を助ける
活動をしたいグループも
ある。
行政が費用負担するの
が良い場合もあるが、よ
く検討し、佐川町として
地域がつながる福祉のあ
り方を考えていきたい。



建設中の斗賀野町営住宅

安倍首相は、先の国会での集団的自衛権の行使容認に向けての答弁で「政府の最高責任者は私だ。政府の答弁に私が責任を持って、その上で、選挙で審判を受ける」と述べた。この発言は、憲

首相の集団的自衛権の解釈改憲

町長の考えは

町長 慎重な議論を

松本 正人 議員



法の上に首相を置く行為であり、権力を縛る目的を持つ立憲主義、近代国家の原則を否定するものだ。町長の考えを聞く。

堀見町長 立憲主義は国を治める基本。憲法改正及び憲法解釈は性急に結論を出すことなく、慎重な議論を重ねてほしい。

原発再稼働の同意

周辺自治体も

町長 地元自治体の判断尊重



電気は必要だが

四国の主な各新聞社の合同世論調査では、伊方原発の再稼働について反対が過半数となっている。

再稼働についての立地自治体だけの同意という現行法は実態に合わず、周辺自治体の同意を求める声が多い。見直しを提案すべき。

堀見町長 原発再稼働については反対が多いというのが国民の声であると認識している。

ただ、再稼働については、原子力規制委員会が新しい基準に基づき、安全性を厳しく審査した結果、再稼働が認められれば、地元自治体の判断を尊重したい。

4月から実施予定の消費税増税は、生活、経済の実態から見ても増税できる環境ではない。増税は消費を冷え込ませ、景気を悪くし、かえって税収を減らす。

消費税増税でなく、大企業の内部留保を利用し、中小零細企業業者には賃上げを国が支援すること、減税をセットで行うことこそ必要である

と国に提言すべき。

堀見町長 増大する医療費や介護費など、社会保障経費に充当するため消費

増税できる環境でない

町長 増税やむなし

税を増税することはやむを得ない。景気対策はこれが正解だと言いつける対策は思い当たらない。

その他の質問

○社会保障「改革」について。

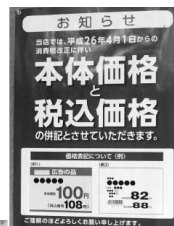
○2014年度の地方財政対策の特徴をどう捉えるか。

○本町一般会計当初予算の特徴について。

○県の新規メニューと本町の事業について。

○交通弱者対策について。

消費税



家計を圧迫する増税

行政視察報告

佐川町議会は、3月17・18日に有害鳥獣対策の視察研修に、議員全員で島根県美郷町を訪問しました。

美郷町では、以前からイノシシの被害に苦しめられていましたが、猟友会に委ねていた駆除班組織を解体し、行政関係者や農業従事者を中心とした新たな体制を構築することで組織力を強化していきましました。

また、駆除イノシシを地域資源として食材に活用するため、おおち山くじら生産者組合を設立し、「おおち山くじら」を地域ブランドとして全国に広めることに成功しています。今では、愛される食材として、地域のレストランや食堂はもとより学校給食などにも地産地消で提供されています。さらに、イノシシの革を使った、財布、名刺入れなどのオリジナル製品も開発されており、まさに地域資源としての利用価値を最大限に発揮されています。こういった有害鳥獣対策と連動して婦人会が積極的に活動し、地域おこしに活躍されています。



イノシシを切り口に、

農家・狩猟者・役所だけでなく地域住民が資源化を通じて過疎と少子高齢化の問題を考え、中山間地域ならではのまちづくりを行っている。佐川町でもマインナス要因と考えられることでも発想の転換でプラスに変え、豊かな町づくりを行っていききたいものです。



全国町村議会議長会

自治功労者特別表彰受賞

佐川町議会議員

永田 耕朗氏



永田議員は、平成26年2月6日に東京で開催された全国町村議会議長会第65回定期総会において、地方自治の発展に功績があったとして、「自治功労者特別表彰」を受賞され、その伝達式が、平成26年2月21日に高知県町村議会会長定期総会の席上で行われました。

職員紹介

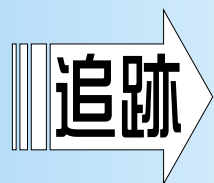
「ようこそ
お願ひします」

こんにちは。

私は4月1日の人事異動で議会事務局に配属になりました山崎有岐と申します。佐川町役場奉職より様々な課を異動後、今年度より再び議会事務局で勤務させていただくことになりました。

時代の趨勢とともに議会を取り巻く状況も変わりつつある中で、事務局職員の果たすべき仕事、重要な責務を感じております。まだまだ不慣れで不安な毎日ですが、事務局職員として一日でも早くしっかり仕事をこなせるよう頑張っていきたいと思っております。どうか、よろしくお願ひいたします。





あれはどうなったが？



中学生までの 医療費無料化

(平成21年12月定例会)

医療費無料化、中学生卒業まで拡大
せよ(松本議員)

〈関連質問〉 中村議員、坂本玲子議員

榎並谷前町長 答 弁

平成26年4月から実施

中学卒業までの医療費無料化を平成
26年4月から実施する(平成25年
12月議会 堀見町長)

どう
なった

小学6年生まで線引き

子どもの医療費無料化は少子化対策の
一環として取り組んでおり中学生まで
となると異論がある。

あの質問のゆくえ

No.29

平成26年度予算

(単位：万円)

会 計 名		予算額	前年度比
一 般 会 計		12億6,270	3億2,693
特別会計	特別養護老人ホーム	12億4,732	△1,981
	養護老人ホーム	1億1,554	△321
	障害者支援施設	1億7,997	1,387
	ふるさと市町村圏	3,269	246

《組合長 諸般報告》
衛生センター
昭和41年稼働以来
48年が経過し、各設
備の老朽化が進行し
ているため、平成27
年6月末までの工期
で改修工事を行う。

清掃センター
1月末のごみ総量は、
7778トン、佐川町
が全体の約52%の40
67トンとなっている。

処理センター
焼却灰処理ピットは、
平成23年9月から第3
ピットに投入しており、
残余年数は、約3年と
見込んでいる。

消防署
平成25年中の出動状
況は、救急出動が15
46件で、このうち65
歳以上の高齢者搬送の
割合は74%を占めてい
る。消防・救急無線の
デジタル化は、平成26
年12月末までに工事が
完了する予定。

高吾北 広域 町村事務組合 議会
3月3日

—住民の信頼に応えられる議会へ—

今年も議会懇談会を開催します



多くの要望や提案があった前回の議会懇談会

佐川町議会では昨年に引き続き今年も議会懇談会を開催します。
住民に信頼される議会に向けて、皆さんの生の声をお聞きし、その思いを真摯に受け止め、住みよい町づくりに役立てたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

日 時	地区名	場 所	時 間
5月 2日	黒 岩 地 区	黒岩多目的集会所	19時から
5月 9日	尾 川 地 区	尾川地区住民センター	19時から
5月16日	加 茂 地 区	加茂地区住民センター	19時から
5月22日	斗賀野地区	J A コスモス斗賀野支所	19時から
5月30日	佐 川 地 区	役場2階大会議室	19時から

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は6月6日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

編集後記

妻と私は母の介護をしています。
介護とは食事を作り下の世話をして洗濯をする、その繰り返しです。介護生活は淡々と続きます。人間の寿命は約80年ですが、上の世代から受け継いだバトンを次の世代に渡すと考え、人間の歴史は続いていきます。自分が走り終えた後も、私の思いを背負って走ってくれる人がいると考えると、介護とは、バトンの受け渡しの儀式、親が子の面倒を見るという親子の立場が逆転した瞬間ではないでしょうか。人はそれぞれ状況は違います。けれども、とても介護が心の負担になっている人がいたら、「本当に大変ですね。でも、必ず、後々大きな意味を持つはずです」と言っておきたいと思います。

邑田

議会広報編集委員会

委員長	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

地域で がんばる

尾川地区活性化協議会

— 会の目的は何ですか。

会の名前のとおりです。(笑)

— 具体的にはどんなことをしていますか。

大きなものは、尾川の秋祭りの実行です。それと伝統芸能「尾川踊り」の継承ですね。



春らんまんの尾川の里

— 集落活動センター「たいこ岩」を立ち上げましたね。

そうです。佐川町で最初の集落活動センターですので、頑張らんといいかと思っています。

— どんな活動をされるのですか。

センターを拠点として、地区の抱える問題を皆で解決していきたいと思っています。

— 今、具体的には何が。

— 秋祭り見せていただきました。子どもからお年寄りまでが参加していて感動しました。

尾川自慢のチームワークですよ。それと、祭りには地区外で暮らす出身者も多く参加してくれて、うれしいですね。

地区の高齢者への配食を週に一回実施しています。皆さん楽しみに待っていてくれます。配食は、女性のグループ「やまぼうし」が担当してくれています。

— 今後の抱負は。

やっぱり、地域で暮らす人は多くなくても皆が明るく楽しく暮らす、そんな地域にしたいですね。それと、子どもたちにこの美しい尾川をいつまでも残していきたいですね。

— どうもありがとうございます。

今回、取材させていだいたのは、尾川地区活性化協議会の会長の澤村重隆さんと副会長の横田三夫さん、やまぼうし会長の田村弘子さんと、皆さんの地域に対する深い愛着と使命感を強く感じました。

今後の活躍を期待します。

あなたの周りに、佐川のまちの元気のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ、ご紹介下さい。



活性化協議会の
横田さん、田村さん、澤村さん



集落活動センター「たいこ岩」落成